

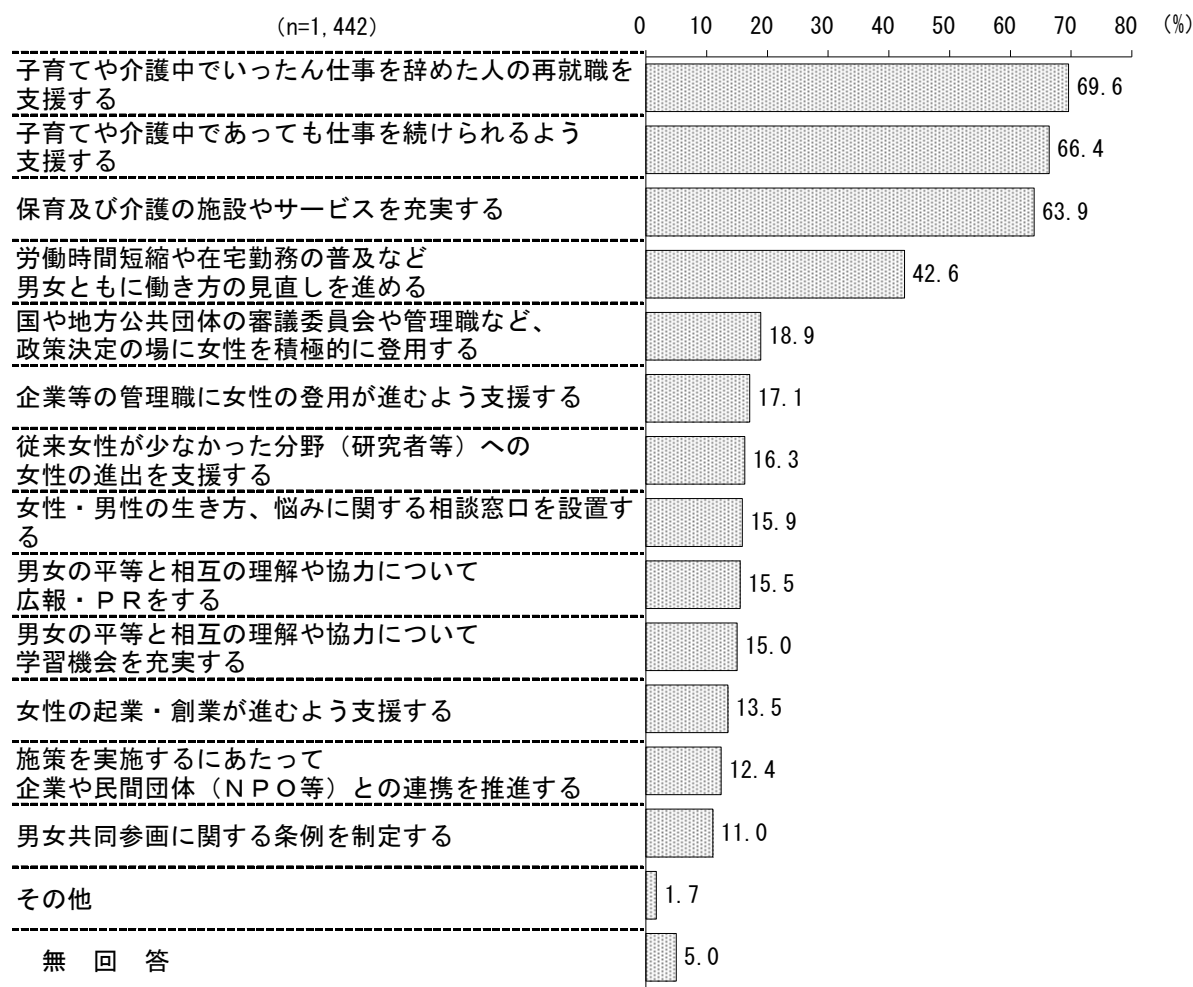
## 9 男女共同参画社会の形成促進について

### (1) 今後、行政が力を入れるべきこと

◇「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が約7割

問34 あなたは男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、行政はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。(〇はいくつでも)

<図表9-1> 今後、行政が力を入れるべきこと



男女共同参画社会を実現するために、今後、行政が力を入れるべきこととして「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(69.6%)が約7割と最も多くあげられ、以下、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」(66.4%)、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」(63.9%)、「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」(42.6%)となっている。(図表9-1)

### 【地域別】

地域別にみると、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」が“香取地域”（88.9%）で約9割と、他の地域に比べて高くなっている。（図表9-2）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は男性の20代（79.5%）、女性の30代（79.1%）で約8割と、他の年代に比べて高くなっている。

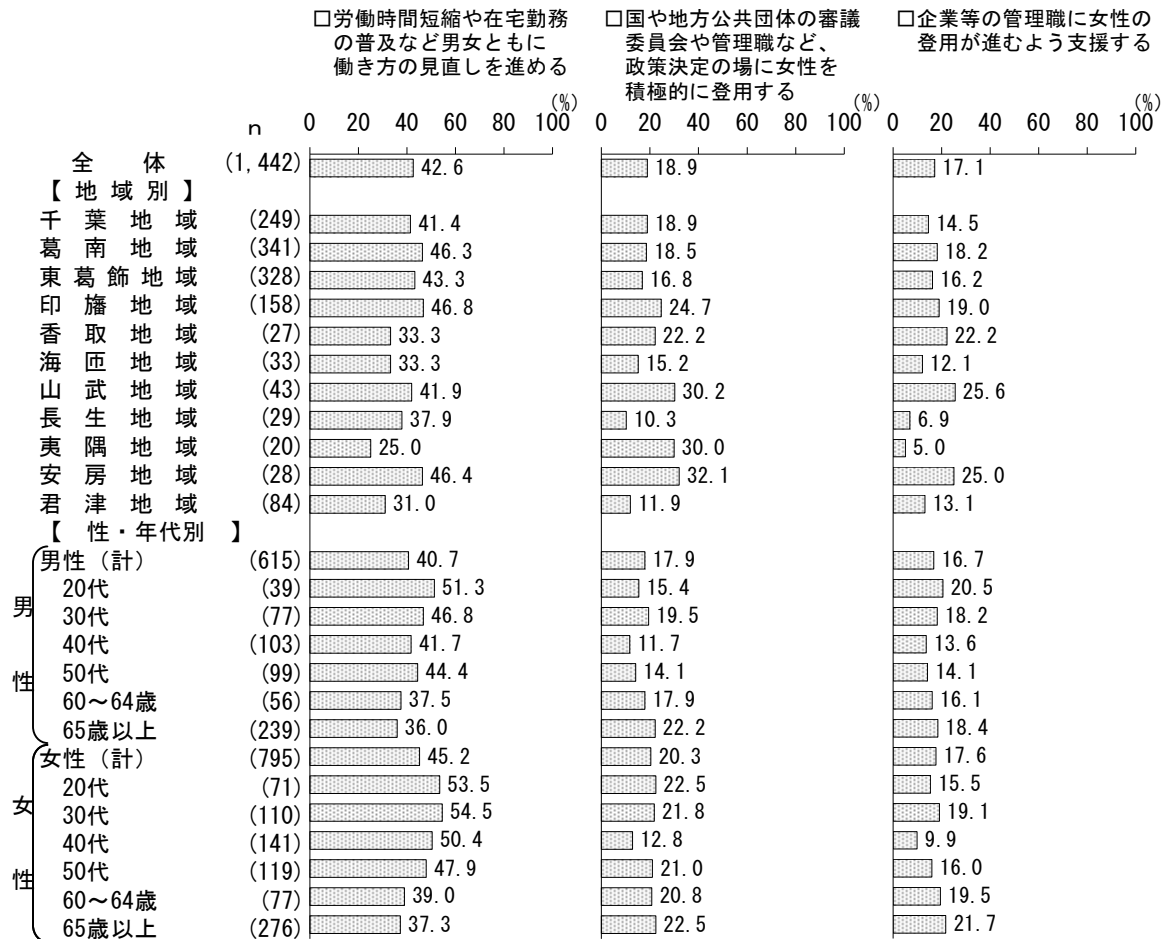
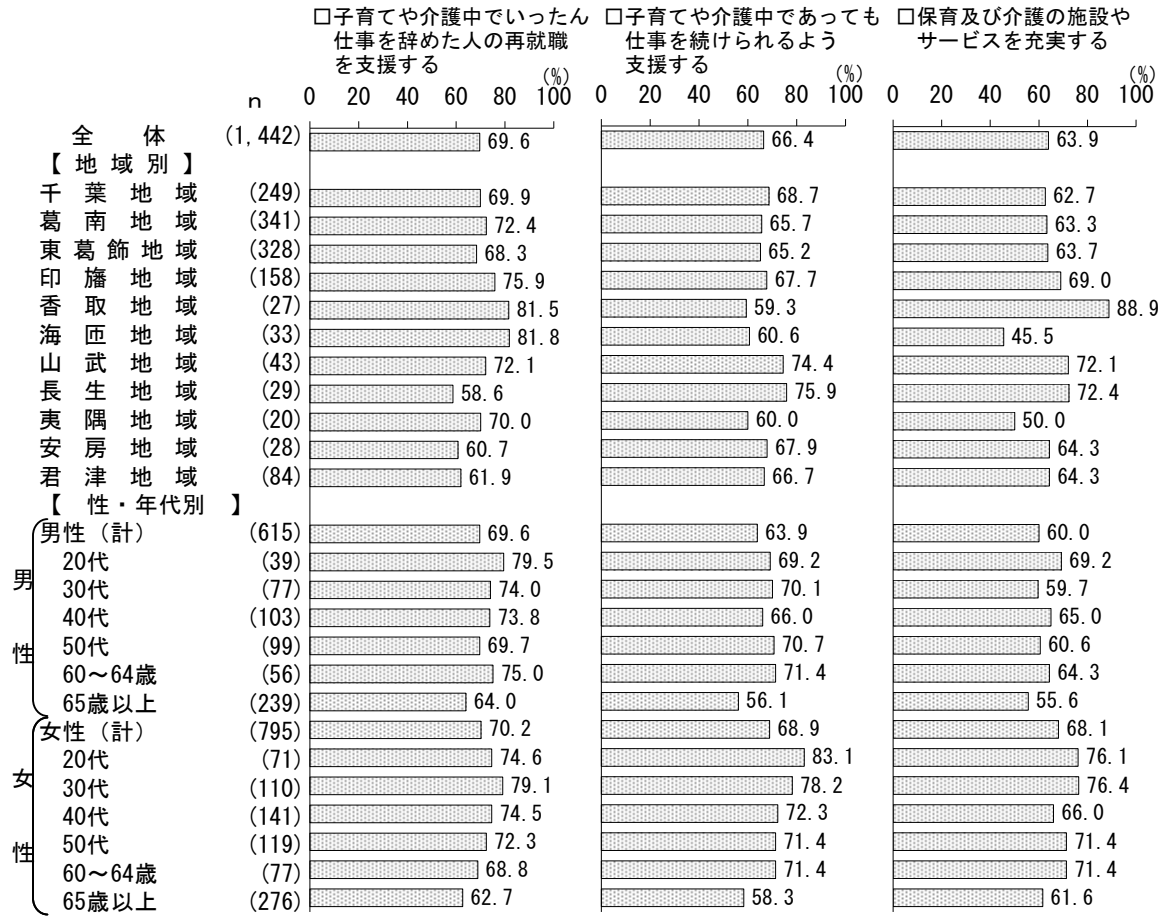
「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」は女性の20代（83.1%）で8割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。

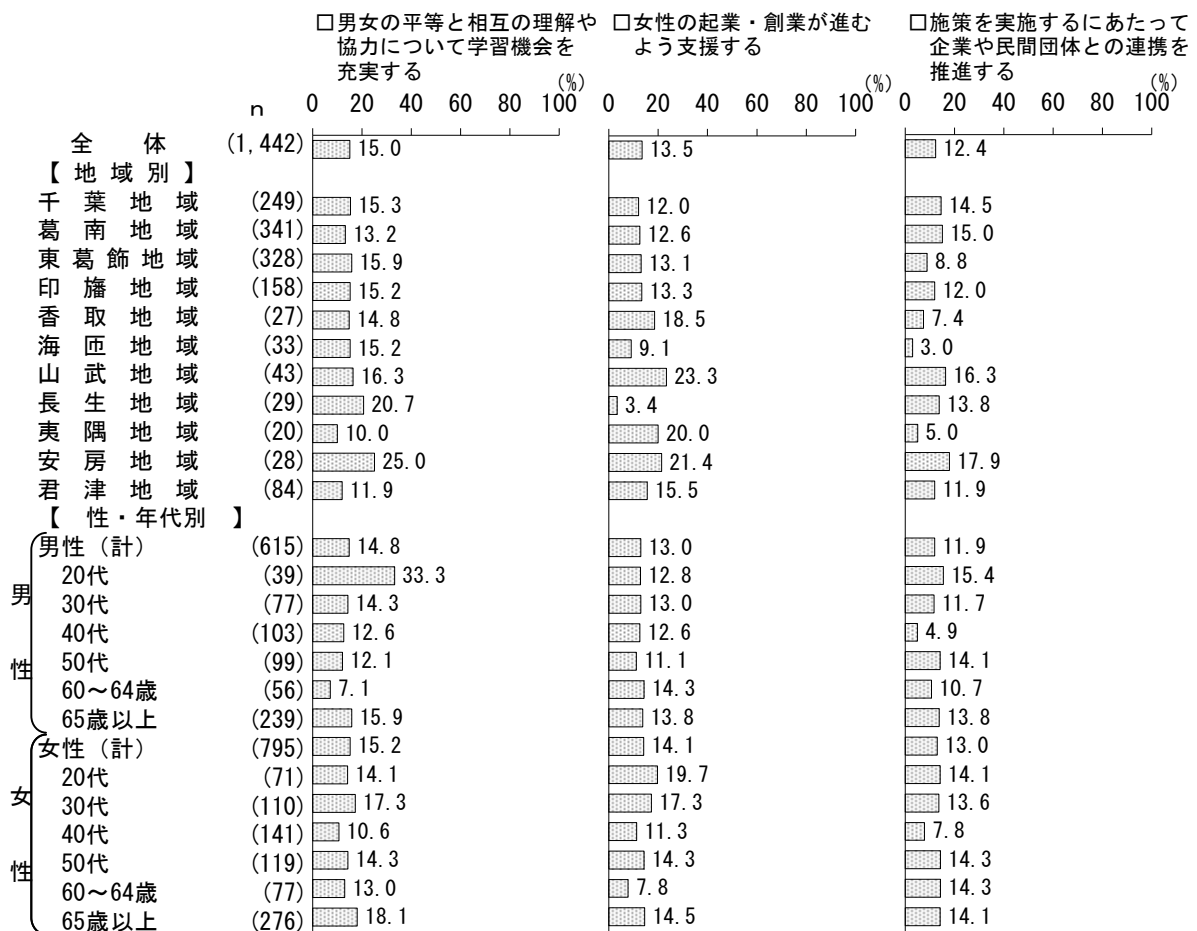
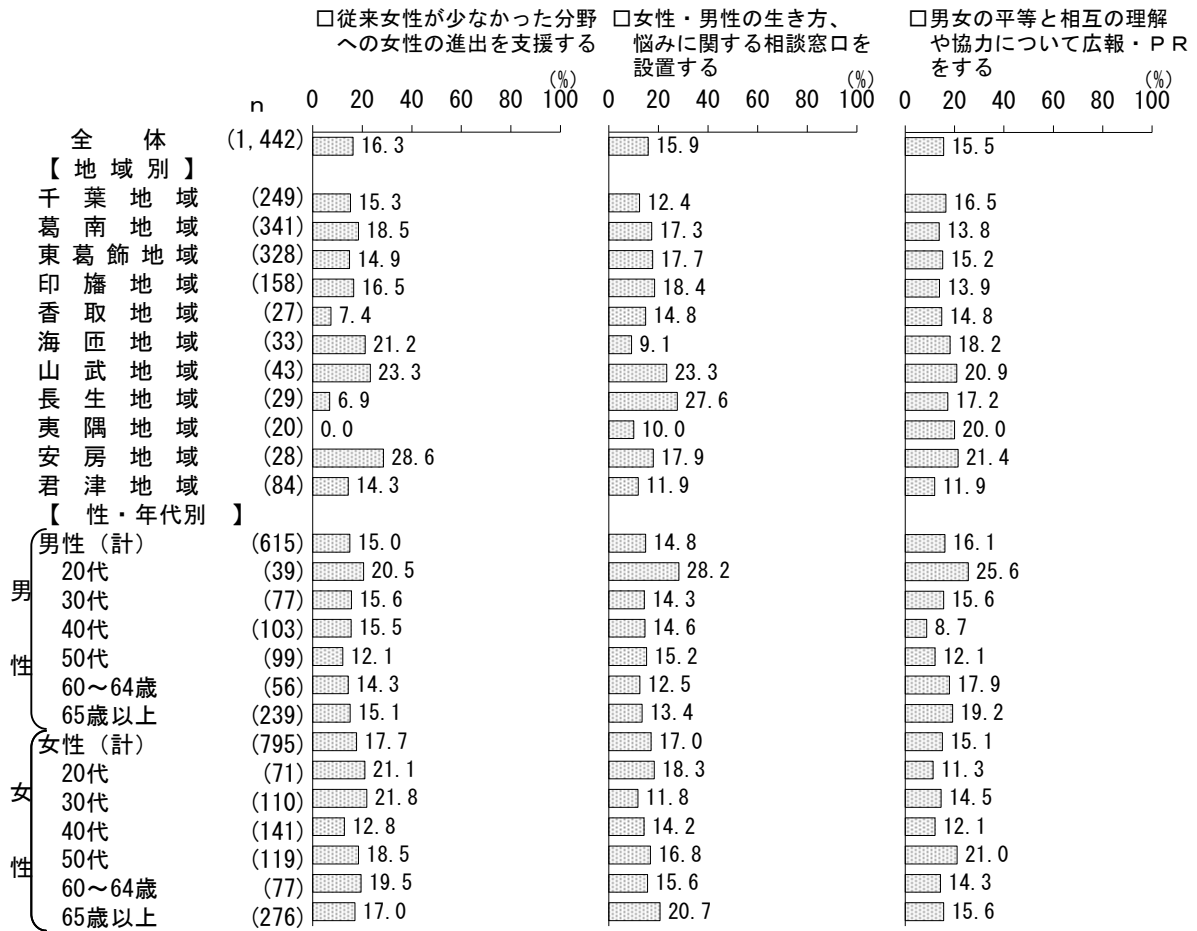
「保育及び介護の施設やサービスを充実する」は女性の30代（76.4%）、20代（76.1%）で7割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。

「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」は女性の30代（54.5%）、20代（53.5%）で5割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。

「男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する」は男性の20代（33.3%）で3割を超え、「女性・男性の生き方、悩みに関する相談窓口を設置する」も男性の20代（28.2%）で約3割と、他の年代に比べて高くなっている。（図表9-2）

<図表9-2> 今後、行政が力を入れるべきこと／地域別、性・年代別



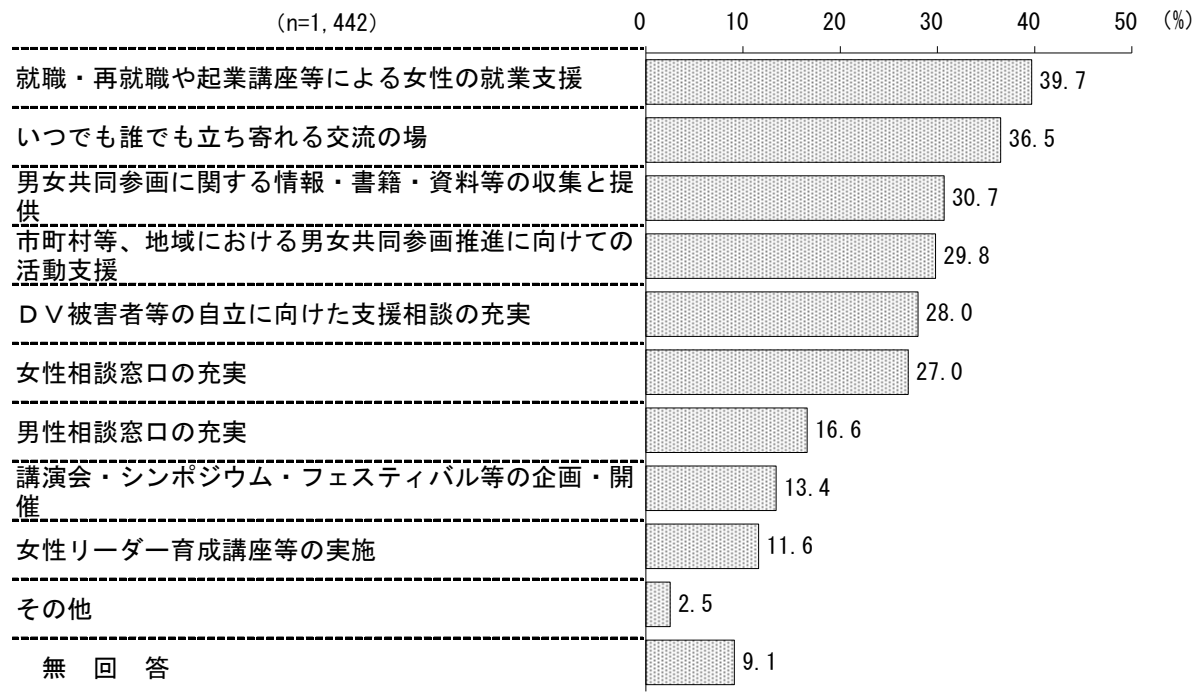


## (2) 「男女共同参画センター」で充実すべき事業

◇「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」が約4割

問35 県では男女共同参画推進拠点として、「男女共同参画センター」を設置しています。あなたは、この男女共同参画センターにどのような事業を充実させるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表9-3> 「男女共同参画センター」で充実すべき事業



「男女共同参画センター」で充実すべき内容は、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」(39.7%)が約4割と最も高く、以下、「いつでも誰でも立ち寄れる交流の場」(36.5%)、「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」(30.7%)、「市町村等、地域における男女共同参画推進に向けての活動支援」(29.8%)、「DV被害者等の自立に向けた支援相談の充実」(28.0%)、「女性相談窓口の充実」(27.0%)が続く。(図表9-3)

### 【地域別】

地域別にみると、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」は“君津地域”（50.0％）で5割と、他の地域に比べて高くなっている。

「いつでも誰でも立ち寄れる交流の場」は“夷隅地域”（70.0％）で7割と、他の地域に比べて高くなっている。

「市町村等、地域における男女共同参画推進に向けての活動支援」は“長生地域”（48.3％）で約5割と、他の地域に比べて高くなっている。（図表9－4）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」は女性の30代（60.0％）、40代（59.6％）で約6割と、他の年代に比べて高くなっている。

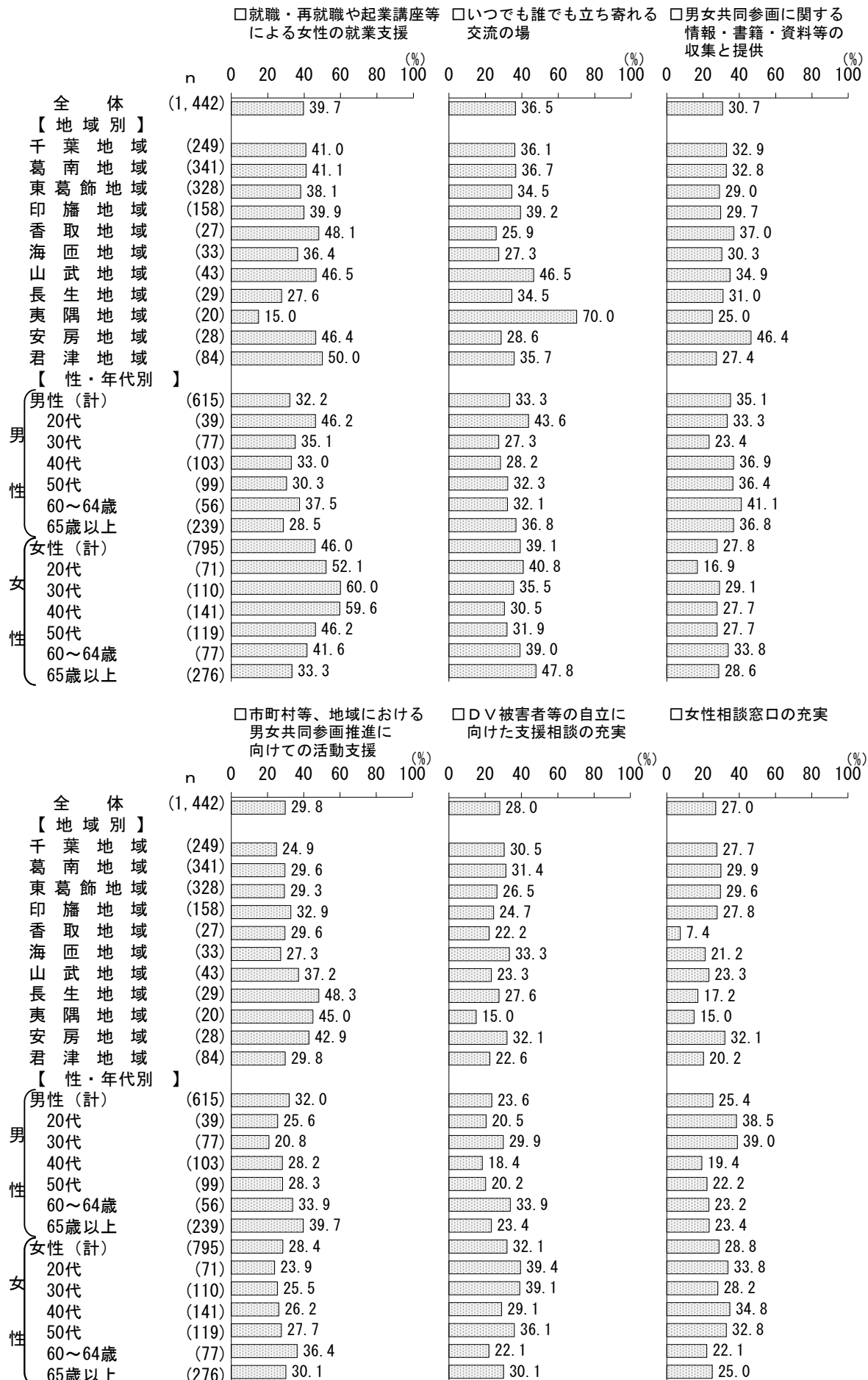
「いつでも誰でも立ち寄れる交流の場」は、女性の65歳以上（47.8％）で約5割と、他の年代に比べて高くなっている。

「市町村等、地域における男女共同参画推進に向けての活動支援」は、男性の65歳以上（39.7％）で約4割と、他の年代に比べて高くなっている。

「DV被害者等の自立に向けた支援相談の充実」は、女性の20代（39.4％）、30代（39.1％）で約4割と、他の年代に比べて高くなっている。

「女性相談窓口の充実」は、男性の30代（39.0％）、20代（38.5％）で約4割と、他の年代に比べて高くなっている。（図表9－4）

<図表9-4> 「男女共同参画センター」で充実すべき事業／地域別、性・年代別（上位6項目）

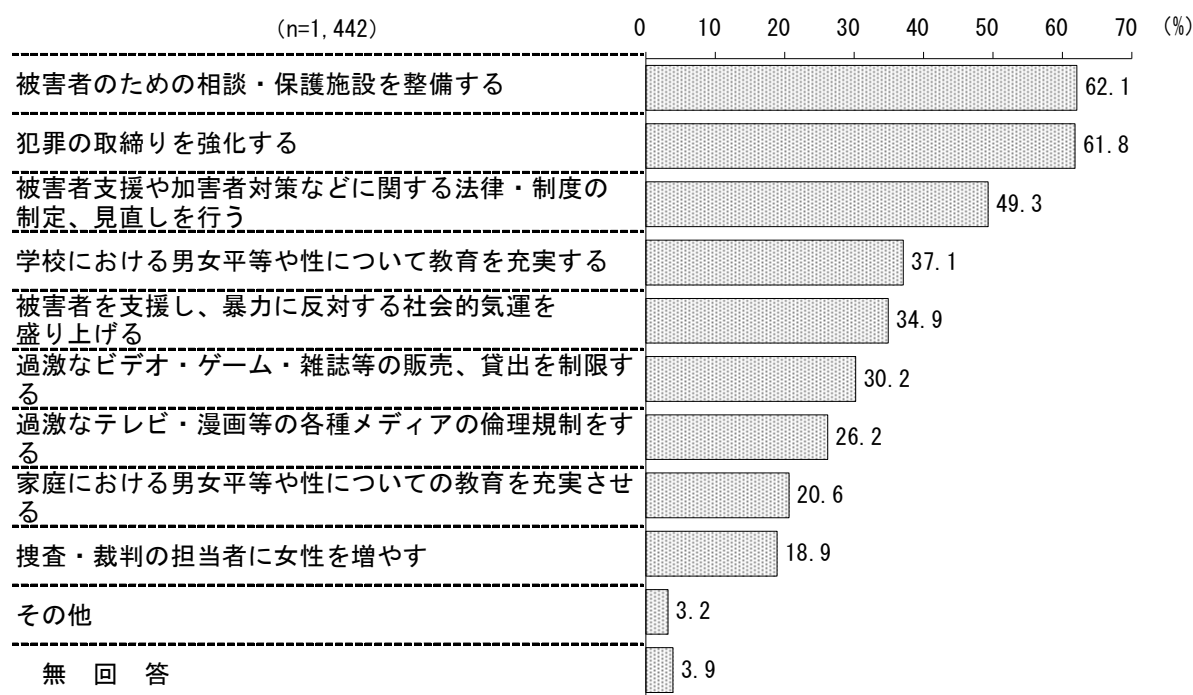


### (3) DVやセクハラ、ストーカー行為をなくすためにすべきこと

◇「被害者のための相談・保護施設を整備する」、「犯罪の取締りを強化する」が6割

問36 性犯罪や配偶者・恋人等から受ける暴力であるドメスティック・バイオレンス（DV）、職場等での性的な嫌がらせのセクシャル・ハラスメント（セクハラ）、つきまとい等の行為をするストーカーなどの性に関する様々な問題が社会的な課題となっています。  
あなたは、このような行為をなくすためには、どのようにしたら良いと思いますか。  
（〇はいくつでも）

＜図表9-5＞DVやセクハラ、ストーカー行為をなくすためにすべきこと



DVやセクハラ、ストーカー行為をなくすためにすべきこととして「被害者のための相談・保護施設を整備する」（62.1%）、「犯罪の取締りを強化する」（61.8%）が6割を超え、多くあげられている。以下、「被害者支援や加害者対策などに関する法律・制度の制定、見直しを行う」（49.3%）、「学校における男女平等や性について教育を充実する」（37.1%）、「被害者を支援し、暴力に反対する社会的気運を盛り上げる」（34.9%）となっている。（図表9-5）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「被害者のための相談・保護施設を整備する」は、女性の50代（81.5%）で8割を超えており、他の年代に比べて特になくなっている。

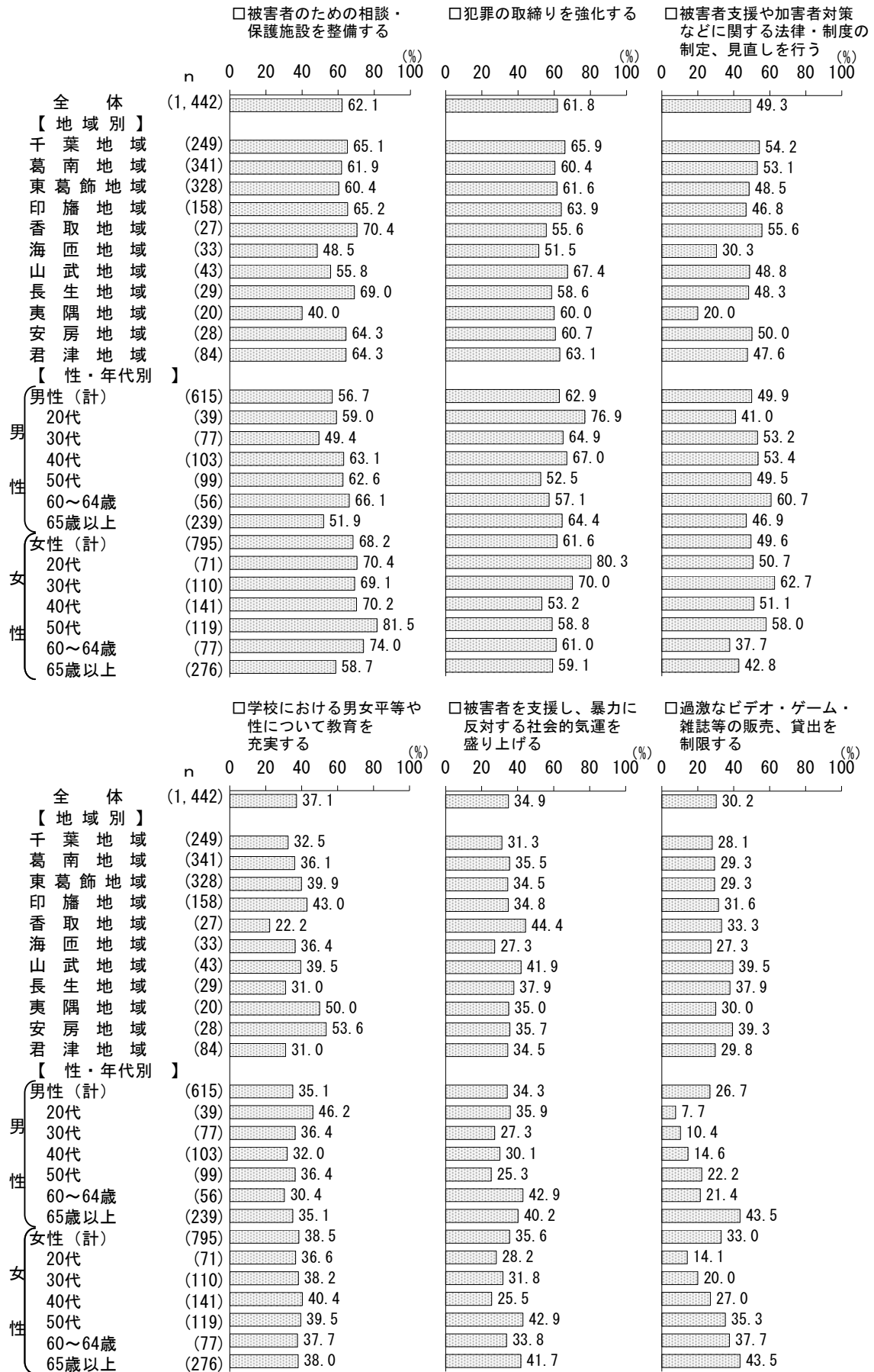
「犯罪の取締りを強化する」は、女性の20代（80.3%）で8割、男性の20代（76.9%）で7割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。

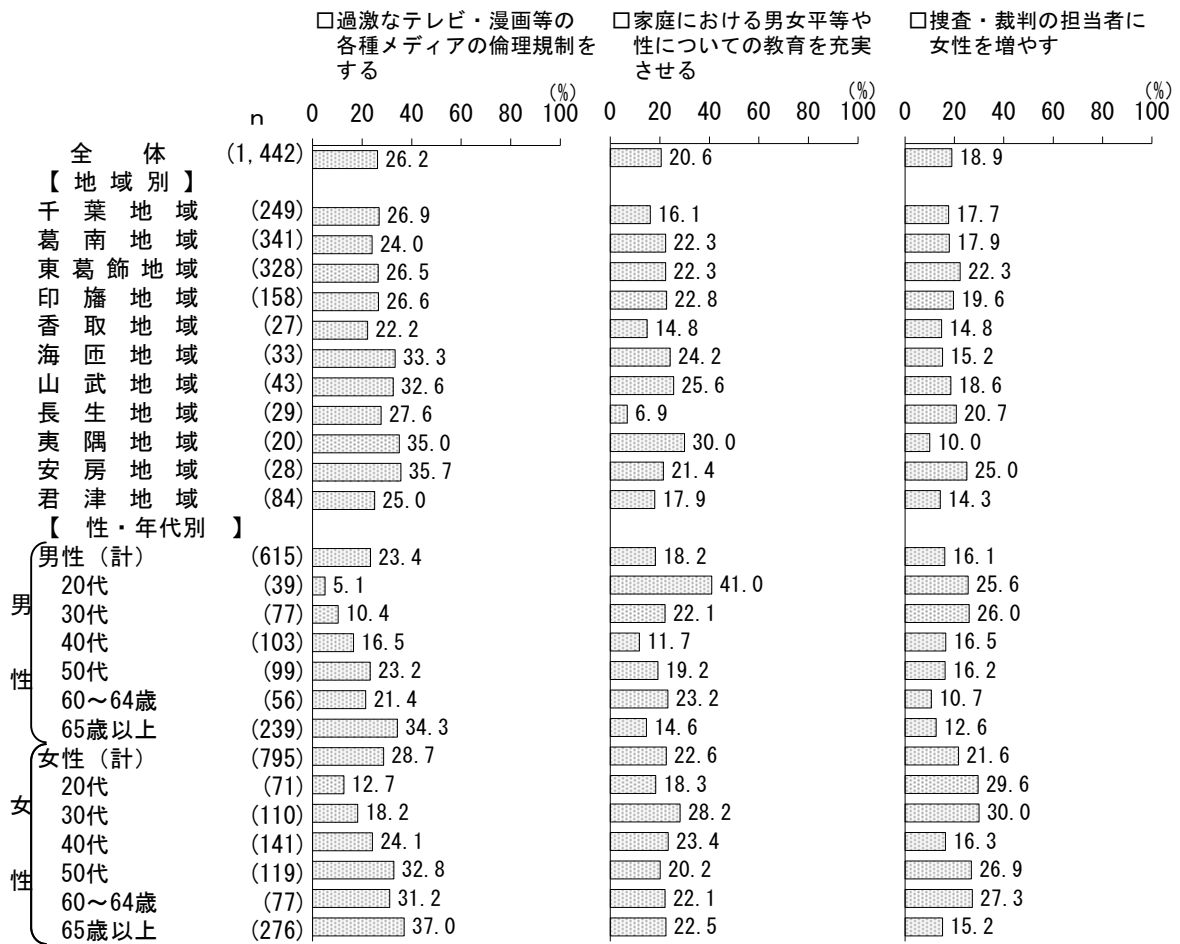
「被害者支援や加害者対策などに関する法律・制度の制定、見直しを行う」は、女性の30代（62.7%）、男性の60～64歳（60.7%）で6割を超えており、他の年代に比べて高くなっている。

「過激なビデオ・ゲーム・雑誌等の販売、貸出を制限する」は、男女の65歳以上（ともに43.5%）で4割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。（図表9-6）



＜図表9-6＞DVやセクハラ、ストーカー行為をなくすためにすべきこと  
／地域別、性・年代別





このほかに、「男女共同参画社会の形成促進について」やここまでの質問（問34～問36）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、99人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

#### ■「男女共同参画社会の形成促進について」の自由回答（抜粋）

○DVなどから逃げるシェルターのようなものを、もっと分かりやすくした方がいいと思う。逃げる為の協力を積極的に行い、逃げる勇気を与えてあげた方がいいと思う。

（女性、30代、東葛飾地域）

○今の男女平等は偽りのように見える。本来は男女関係なく、適切な能力を持った者を登用すべきところを、男女何名ずつとすれば、おかしな事になると思う。（男性、30代、千葉地域）

○男とか女とかの区別なく、人として管理職やリーダーになれるよう仕事や教育を行っていくことが大切と考える。「女性を積極的に登用する」のではなく、人間として、優秀なリーダーたるものを起用する。（男性、60～64歳、東葛飾地域）

○企業における女性管理職登用は、ある程度法的拘束力を行使し、国や都道府県が先導していく必要があると思う。（女性、30代、葛南地域）

○子育てや介護などで一旦仕事を辞めざるを得なかった方への支援は、早急に実施すべきだと思う。又、企業の理解も重要である。企業リーダーの意識改革をお願いしたい。

（男性、40代、東葛飾地域）

○育児、介護という問題で仕事を辞めざるを得ないのは、実際には女性である。男性も休暇をとれる環境を、社会全体に取り組んでほしい。（女性、40代、君津地域）

○やはり子供の時からの教育が一番大事だと思います。大人になってからでは無理です。

（女性、60～64歳、葛南地域）

○ストーカー被害のニュースなどマスコミで目にしますが警察などもう少し事件を未然に防げるよう何とかできないものかと思います。（女性、50代、安房地域）

○千葉は全国的にも、先進地であったはずだったと思います。更なる推進を。

（男性、40代、長生地域）

○DVやストーカーなどについては、加害者の更生を支援する施設も整備し、加害者を減らしていく取り組みも行うべきだと思う。（男性、20代、印旛地域）